

団員の感想（抜粋）

【訪日全体と、専門分野の活動に関する感想】



＜全般的な感想・日本の印象＞

今回の訪問活動は、慎重に、すき間なく、秩序正しく手配され、小学校から高校までの日本の教育の発展の現状を十分に理解することができた。自身の教育思想を高め、国際理解力やそのレベルを向上させるのに役立った。

今までのテレビ、ネットによる日本理解は、多面的でなく正しいものとは言えない。今回の訪問で、日本人が慎重で、細やかで、礼儀正しく、秩序を守り、節約に心がけていると知った。政府の教育や管理は適切で、私たちもこの優れた点を学ぼうと思う。

＜専門分野における収穫や感想＞

私は学校で教育管理の業務に従事しており、主に特色ある学校作りと発展を目指している。今回の訪問活動で学んだ被災地の防災・救災方法や考え方、心理カウンセリングのモデルは、学校の安全や心理教育の参考にできる。特に、日本の学校が空間や土地を総合的に活用し、学校文化作りに力を入れていることに大いに啓発された。授業で生徒と教師の交流の様子を見て、生徒主体の方向性を貫いていくべきだと確信した。

＜訪日活動を通じて得た抱負やその他提案＞

この活動の経験と収穫をまとめ、学校に提案する。直接、部署内で実施したり、他校の同業者にも広めたい。

中日交流の面では、中日友好協会の事業を積極的にサポートし、日本の訪中団を受け入れ、学校の教師や生徒を派遣する。また、国際教育の研究と実践を行い、生徒のグローバルな視野を養いたい。



＜全般的な感想・日本の印象＞

日本の優れた都市環境を体感した。清潔で、秩序が保たれ、都市建設と管理水準の高さが反映されている。日本人は規範意識が高く、約束や時間を守り、自律性が高い。仕事も細やかで、慎重に計画して実行し、細部にこだわり、緻密さを求めることが印象に残った。

＜専門分野における収穫や感想＞

訪問見学した学校のインフラは、どこも細やかに設計され、実用的かつ緻密だった。体育や芸術科目を重視しており、人としての持続可能な発展と、質の高い生活に注目しそれを追求しているのが見てとれた。日本の教育は、国際的視野を強く持ち、適時人材育成目標を調整することができ、「表現」と「対話」に注目した将来を見据えたものである。多彩なクラブ活動は、生徒達がさらに成長していくための大きな舞台を創り出しており、生徒はクラブ活動を通じ、団体意識と社会意識を養い、個性を伸ばし、能力を向上させている。クラブ活動は、生徒の興味を刺激し、自己表現と分かち合いの場となっている。

＜訪日活動を通じて得た抱負やその他提案＞

- 1、国際的視野を持って、学校の将来と人材育成目標を考え、計画する。
- 2、選択技が多く、個性的に成長する機会や舞台をできるだけ多く生徒に与える。

- 3、学校のインフラ、施設の整備、カリキュラム設定、評価制度等において、「人間本位主義」理念で、できる限り細部まで実施する。
- 4、中日友好交流分野で、より積極的な役割を果たす。



<全般的な感想・日本の印象>

- 1、日本人は厳密かつまじめで、物事を順序立てて行う。特に、時間厳守と細かな管理に驚嘆した。
- 2、日本は規範意識が非常に高く、いたるところでそれが強調され、いたるところに表れている。
- 3、日本の交通事情はすばらしい。賑わう都市に、これほど多くの車が走り、道も狭いのに、車の流れは順調で、管理面や人の資質の良さが表れている。
- 4、清潔さ、これはみんなが協力して保っているものである。

<専門分野における収穫や感想>

- 1、学校の経営理念は、生徒の実情に寄り添い、無味乾燥ではない。そのことが、キャンパスのいたるところに表れている。
- 2、体育教育がとても充実していて、どんなに小さな学校でも施設が完備している。
- 3、学校はそれぞれ特色があり、それが生徒に表れている。
- 4、教育の公平性が実現されており、学校間の差が少ない。
- 5、各学校ともクラブ活動教育を重んじており、生徒の参加を重視している。
- 6、生徒は、みな楽しそうに過ごしている。

<訪日活動を通じて得た抱負やその他提案>

- 1、中国の教育は、都市と田舎の差が大きく、その解決が急務である。北京のハード面の設備は、日本より優れているが、次の2点を解決すべきである。一つは、学校経営理念をきちんと定める、もう一つは学校のソフト面への投資である。
- 2、本当に国と民族の発展を考えて教育を行う。



<全般的な感想・日本の印象>

- 1、教育について新しい認識を得た。日本の教育、特に基礎教育について理解することができた。
- 2、日本は教育を大変重視しており、特に日本の家庭教育と子供の教育に対する家庭の在り方をしっかり学ぶべきだ。
- 3、全人教育を重視しており、特に生徒の成長を基本におき、生徒を社会に役立つ人材に育てるという点に着目し、効果的な対策をいろいろ行っている。
- 4、社会が教育を重視し、日本人が苦勞をいとわず、苦勞に耐え、何事も完璧さを求める点を、私たちが学ぶべきだ。勇気をもって困難に立ち向かい、民族の団結力が高い。

<専門分野における収穫や感想>

- 1、教育目標が明確で、手法が多様である。
- 2、教学・教育理念が長期的展望に立ち、生徒の実情に合った、生徒の将来を見据えたものである。
- 3、レベル別教育で、生徒は多様な選択が可能である。
- 4、競争を重視し、生徒に競争への参加を奨励している。
- 5、生徒への激励を重視し、生徒が表現する場を設けるよう努力している。

- 6、礼儀教育を重視しており、レベルの異なる学校でも基本的な要求は同じである。
- 7、生徒の頑張りを引き出す教育、環境保護教育、安全教育を重視しており、そのための明確な手法を持っている。
- 8、社会の各方面の力を十分に活用して、効果的な教育を行うことを重視している。
- 9、生徒を尊重し、その成長を尊重しており、教師の評価システムも健全である。



<全般的な感想・日本の印象>

大変収穫があった。日本の印象は、近代化レベルが高く、社会が成熟していること。

日本人はまじめに、細やかに、慎重に、実際に基づいて物事を行う。また、規範意識が高く、学び、他を参考にすることに優れている。このことを、私たちも学ぶべきだ。比較すると、中国はまだ足りないところがたくさんある。

<専門分野における収穫や感想>

学校教育の面では、日本の学校のインフラ（校舎）は中国に比べてすぐれており、実用的だと知った。生徒一人当たりの教育資源が中国に比べ高い。教育設備の近代化のレベルは北京より優れているわけではないが、日本の教育は都市と田舎の差が小さく、中国より均一化されている。カリキュラム設定と育成目標の面では、学校の自由度が高く、テストや進学でのプレッシャーが比較的少ないので、人材育成の方法がさらに教育の本質に近づいている。

日本の子供の学校生活は、中国の子供に比べ楽しく、身体も健康である。個性を延ばす点では、子供たちはより多くの可能性を持ち、自分を発見し、自分を成長させることができる。また、中国の子供に比べ自信にあふれている。

日本の関連立法は中国に比べて、適切で、グレーゾーンが少ない。

<訪日活動を通じて得た抱負やその他提案>

- 1、わが校では毎年冬休みに中堅幹部会を1回開催し、すべての学年主任、教務主任と副主任以上の幹部が参加する。活動内容の一つに校長のテーマ別報告があるので、「見たこと、感じたこと」をテーマに、写真や文字のパワーポイントを使って、基調報告を行うつもりである。
- 2、関連事業への参加機会を作るよう努力し、自分の生徒たちに訪日し視野を広げる機会を与えたい。



<全般的な感想・日本の印象>

1、文化レベルの高さ

都市は発展しており、なおかつ清潔で、静かで、清掃が行き届いている。狭い道もあるが、交通秩序が守られている。日本人は日頃から礼儀正しい。

2、美しさ

金色の銀杏の葉が空を舞い、紅葉したもみじが幾重にも赤く頬を染めたようで、緑の竹、クスノキが風の中にまっすぐ立ち、京都と大阪の街路樹は本当に美しい。これは、日本が自然を愛し、自然美を味わう国であることを示している。天然の地形と水源を利用したはぎ屋旅館での、屋外の木々の中で風の音を聞きながらの入浴も、屋上で星空を見ながらの入浴も、本当に美しい。

3、細やかさ

何事を行うにも、日本製時計「セイコー（精工）」の字のごとく、精密に細部まで行き届いている。

4、たくましさ

美しい日立市で、震災後の日本人のたくましさを知恵を見た。

<専門分野における収穫や感想>

1、生徒のチームワーク

小学校の数字を教える算数の授業でも、高等学校の会話と表現力を訓練する英語の授業でも、多くの授業で生徒のチームワーク、自主的实践を重視しており、クラブ活動でも生徒のチームワーク力を養っている。

2、生徒の才能の開花

各校ともクラブ活動が活発で、廊下の絵、工作、新聞等の創作品を見ると生徒の多方面にわたる才能を見ることができる。

3、生徒の熱心さと文化レベルの高さ、中国伝統文化の研究

教室の壁に貼られた中国の古文「千字文」、「陋室銘」の書道や、「金木水火土」で週を表す曜曆など、日本は伝統を重んじ、近代文明の中に古代文化を受け継いでいる国である。

4、日本社会の教育投資の大きさを我々も学ぶべき

<訪日活動を通じて得た抱負やその他提案>

1、中国に帰国したら、自分の学校で講座を開設し、日本の文化や日本人が友好的であること、日本の教育が進んでいることを紹介するつもりである。

2、感想を文章にまとめ、地域の雑誌や新聞に投稿する。

3、私は国語教師なので、今後の授業で伝統文化を教えることに力を入れるとともに、現在の平和で民主的な理念を教室に行き渡らせる。

【被災地プログラムの感想】



1、日本は社会における防災・減災意識が高く、避難訓練が秩序立てて行われており、防災教育も行き届いている。また、政府機関が国民の防災に大きな役割を果たしている。

建築物の耐震強度が非常に高く、政府、企業共に国民に対して責任をもって対処しており、人と人が互いに信頼しあい、互いに支え合う国である。

2、被災地の人たちは前向きに、頑張る生活に向き合い、復興に力を注いでいる。

人と人が互いに支えあい、社会の基盤がしっかりした健全な社会制度をもつ国である。



日本人は決して屈しない。一致団結し、規範を守る姿から国民の資質が見てとれ、驚嘆した。

今日、消防本部で日本人が設計した耐震施設を見学し、東日本大地震でも、建物に被害が出ていないことを知った。このように、問題に直面したら、一生懸命考え、その問題を解決する、といった知恵と団結力で震災に立ち向かっていることに敬服した。

中日両国が友好的につき合い、中日両国がますます仲良くなっていくことを望む。

◆茨城県を訪問して、一番感動したのは、現地の日中友好協会会長はじめ会員の温かい心、平和を愛し、両国の友好のためたゆまぬ努力を続けていることだ。この人たちに促され、中日両国の友好善隣関係は永遠に続いていくと思う。

次に感動したのは、日立市の高校生が災難に直面しても、冷静に、前向きに、互いに助け合っていたことだ。きっと、彼らは自分たちの故郷をさらに素晴らしいものにしてくれるだろう。

三つ目に学ぶべきことは、日立市消防署の仕事に熱意をもって取り組む姿勢と意識である。彼らが、代々の日本の青年に、災難に冷静に立ち向かうことを真剣に教えてきた。その精神と優れた指導を自分の生徒にも伝えるつもりだ。

◆今回の訪問活動で最も印象に残ったのは、日本人が被災しても力強く、また政府が震災後の復興において、被災者の心理カウンセリング等を含めた適切な指導とサポートをしていることだ。

帰国後、被災者の力強さや勇敢さと復興への自信を、友人に伝えたい。たった1年半で被災地は以前の状態に回復しており、心身ともに健康な生活を送っている。このことを中国の人に伝えなければならない。これは、日本の教育で一貫して生きる力を教えていることと大いに関係があるので、中国も学ぶべきだ。

◆茨城県日中友好協会には大勢年配者がいるが、その活力、経験、熱意、長きにわたって友好事業に携わってきたその精神に大いに励まされ、絆の貴さを知った。会長が中国の歌を歌い、交流会では年配の会員が心を込めてうどんやお寿司をふるまってくれた。また、協会が毎年中国文化祭を開催していることを知って、私たちの心は温かくなり、気持ちが伝わってきて感動し、敬服した。

今回、茨城の日立市消防署で多くの知識を得た。消防署の基礎に使われたゴム製の免震設備や各建物の耐震措置等、日本人の知恵と災害を未然に防ぐ気持ちに大変感服した。

今回、日立市がいち早く、活力に満ち、きれいで、整備されたのを見て、日本人の力強く、くじけないところに感心させられた。

茨城大学には200名以上の中国人留学生がいると聞いた。中国の若者にとって、文化的な日本は、大きな魅力があると思う。

◆深刻な地震と津波被害の後も、日本人は秩序を保ち、冷静で、互いに助けあい、力強いことに感動した。災難の後、各分野の復興作業は大きく進展しており、人々の生活は落ち着きを見せ、秩序が保たれている。前向きで自信を持った生活、経済の復興に対する新しい措置等、被災地はこの先、素晴らしい生活を取り戻せると信じている。

◆

- 1、日本の震災後の復興は大きく進展しており、基本的に震災前の状態に回復している。
- 2、日本の震災の中から教訓を汲み取る精神、それを、いち早く行政の指導原則に転換していくところを学ぶべきである。
- 3、日本人の困難に耐え抜く力に感動した。
- 4、日本は、長期にわたって積み重ねてきた防災や減災の経験を、多いに広めていくべきだ。